

【資料 1】 令和 6 年度学校評価

<div>○ 校務分掌部の反省 ・ 学期ごと ・ 年度ごと ○ 児童生徒の実態 ・ 各種検査の結果 ・ 日常の様子 ○ 保護者・地域の意見 ○ その他</div>		<div>令和6(2024)年度 日向市立東郷学園・坪谷小学校 小中一貫教育グランドデザイン</div>		<div>学校評価 ○ アンケートの結果 ・ 児童生徒 ・ 保護者 ○ 学校の自己評価・改善策 ○ 学校運営協議会委員の意見</div>	
目 標	知（進路学習部）	徳（生徒指導部）	体（保体安全部）	地域（教務研究部）	
	■ 学習指導や読書の推進を通して、 読む力と豊かな心を育てます。	■ 自己有用感をもった児童生徒を 育てます。	■ 心身の健康の保持増進ができる 児童生徒を育てます。	■ 家庭・地域と目標を共有し、郷 育を推進します。	
具 体 的 取 組	1 読書の習慣化を図り、豊かな心 を育てます。 ① 朝読書の取組（1～8年） ② 週末読書の推進 ③ 読書通帳の活用 2 家庭学習の習慣化を図り、自ら 学ぶ力を育てます。 ④ 「家庭学習の手引き」の活用 ⑤ 「みんなく」（みんなで宅習 を見守ろう）の取組 3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿 勢を育てます。 ⑥ 「学習の約束」の徹底 （1分前着席・返事・立腰）	1 身なりを整え、あいさつができ、 無言清掃を行う児童生徒を育てま す。 ① 児童生徒自身で身なりを整え る習慣の整備 ② 先取りあいさつ運動の励行 ③ 清掃活動を通したきれいな学 校づくりの推進 2 時間を大切にする児童生徒を育 てます。 ④ 学校生活における開始時刻の 意識の徹底	1 体力向上に関する取組や食育を 通してたくましい体づくりに努め る児童生徒を育てます。 ① スクールスポーツプランの作 成・実践 ② 食に関する指導全体計画の実 践 2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メ ディアコントロール」などの生活 リズムを整え、健康の増進に努め る児童生徒を育てます。 ③ 健康カレンダーの作成・実践 ④ 家庭と連携したメディアコン トロールの取組	1 地域と連携しながら、あいさつ 運動・安全教育を実施します。 ① まちづくり協議会と連携した あいさつ標語作成 ② いのちの教育週間、人権週間、 若竹集会を活用したいのちを大 切にする取組 2 地域の素材・人材を生かした体 験活動及びキャリア教育を実施し ます。 ③ 生活科や総合的な学習の時間 を中心とした積極的な体験活動 の実施 ④ 出前授業・よのなか教室の実施	
結 果	① 朝読書は小中学部共にできて いるが、時々他のことをしている 学年があるので徹底したい。 ③ 小学部は、読書通帳を活用して 読書に対する意欲を高めている。 ④ 学校は、見届けできているが保 護者は家庭によって差がある。 ⑥ 「学習の約束」を徹底し、学ぶ 姿勢を育てることができた。	① 児童生徒会を中心に設定した服 装規定を遵守している。 ② 児童・生徒の挨拶をすることへ の意識は高く、校内では先取り挨 拶を行っている。しかし、保護者 からの評価が低い。 ③ 生徒指導部が提案している無言 清掃や気付きの清掃は実践できて いるが、清掃の仕方に個人差が見 られる。 ④ 授業1分前着席及び清掃活動、 集会への移動など時間を意識して 行動している。	① スクールスポーツプランを作成 し、体力向上に関する目標を設定 して取り組んだが、昨年度と結果 はほぼ横ばいだった。 ② 食に関する年間指導計画を基に 市学校給食センターの栄養教諭と 連携して指導することができた。 ③ 長期休業では歯磨きカレンダー や健康カレンダーを作成し、児童 生徒が基本的生活習慣を身に付け る機会とした。 ④ 年4回取り組んだ結果を集約し て保健だよりにして保護者に知ら せることで、意識づけが図れた。 しかしメディアをコントロールす る力の育成にはまだ足りないと感じる。	① 挨拶標語作成に取り組んだこと で児童生徒が挨拶について考える 機会となった。また、全体的には、 挨拶を意識して行う児童生徒が増 えている。 ② 命について考える集会や週間を 設け、呼びかけ等を行ったことで、 命の大切さや交通安全に対する意 識の向上を図れた。 ③ 年間計画に沿って、各学年とも 地域人材を生かした体験活動を実 施することができた。 ④ どの学年も昨年度以上に実践で きた。総合的な学習の時間のまと めとして、学習発表会を行い、学 校運営協議会の方、社会体験受入 企業の方から高い評価を受けた。	
改 善 策	② 学部によっては、毎日読書は難 しいので、宿題で週末読書を提案 する。 ⑤ 3学期に「みんなく」を実施す る。	② 家庭及び地域でも挨拶をするよ うに常時指導を行っていく。 ③ 清掃の仕方の個別指導を行って いく。	① 体力テストの結果を踏まえ保護 者に児童生徒の体力の状況を周知 し、家庭でも意識的に体力向上に 努めてもらう。また、3学期から の体育学習で計画的に体力テスト に向けた運動を取り入れていく。 ④ 引き続き家庭と連携したメディ アコントロールの日を設定し、実 施・見届けを行っていく。	④ 学習発表会の内容が素晴らし く、地域で別日程での発表をして ほしいとの依頼があった。しかし ながら、日曜日のため、参加生徒 の人数に限られ、発表の様子をビ デオで見せる形をとった。来年度 は学習発表会の日程を地域の方に 周知し、本校にて発表を見ていた だく形にしたい。	
	①③④ 一定の成果が見られる。今後とも 取り組みを継続していく。	①④ 一定の成果が見られる。今後とも 取り組みを継続していく。	②③ 一定の成果が見られる。今後とも 取り組みを継続していく。	①②③ 一定の成果が見られたので、今後 も反省を取り入れながら、取組を継 続していく。	

評価	A B C			A B C			A B C			A B C		
	(A：1 B：5 C：0)			(A：3 B：3 C：0)			(A：2 B：4 C：0)			(A：4 B：2 C：0)		
学校運営協議会委員より	<ul style="list-style-type: none"> 学年で読書に取り組む姿勢に差がある（小学部）。 読書通帳の活用は良い取り組みだが、本を読まないで題名だけを記入する児童が見受けられる。 ある大学生がマンガに影響を受けて医者になりたいと思った。と話していた。読書への入口のヒントになるのではないか。 小学部は読書通帳の活用し、読書の意欲が高い反面、中学部は進学に向けての勉強のためか若干の見劣りがある。 読解力については、保護者の協力をもう少し高めてほしい。 「分かる・できる」の活動実践は素晴らしいが、子どもの理解力が足りないのではないか。 先生方の活動努力に感謝したい。 親も子どもと一緒に読書に取り組むなど、次年度に取り入れてはどうか。 昨年度と比較して読書に取り組む姿勢の改善が見られている。 自分の考えをわかりやすく伝える力については、保護者の意識と児童生徒の姿勢は何かしら影響していると感じた。 学校、児童生徒、保護者の評価のばらつきが気になる。 中学生になるにつれ、本に触れる機会が少なくなり、ネット環境に依存している傾向にあるようですが、家庭でも手立てをとるのは難しいでしょうか。 中学生にも少しでも本に触れるために月に一回でも読み聞かせをしてもらってはどうか。 自分の考えをわかりやすく伝えることが苦手な子どもが多いのでクラスの中で自分のことを発表できる機会が増えるとういと思う。 			<ul style="list-style-type: none"> 着衣の乱れもなく清潔感にあふれている（中学部）。 児童の一部に髪の毛を梳いていない児童がいる。いじめにつながるのではないかと心配。 授業1分前着席や無言清掃、集会への移動時の動線指導など、生徒会役員の行動は素晴らしい。 あいさつの声が小さい。 無言清掃、挨拶運動頑張っている。 取り組みが実りつつある。 あいさつがよく話題に上がるが、「あいさつしましょう」ではなく、「感謝の心を育てましょう」という考えのほうが良いのではないか。 全てにおいて意識は高く見受けられるが、児童と生徒の評価の差が気になる。中学部に進級するにつれて上がってほしい大事なところだと感じる。 学校・児童生徒・保護者の評価のばらつきが気になる。 			<ul style="list-style-type: none"> 野菜が嫌いという子どもたちの声を多く耳にするが、自分で栽培した野菜、調理した野菜は美味しいと言って口にする。食べるための工夫、取り組みがあるとよいのではないか。 持久走記録会で苦手な児童生徒も最後まで頑張って完走していた。その姿を応援する子どもたちにも感動した。 メディアコントロールができていない。 「早寝・早起き・朝ごはん」は家庭での習慣が大事。保護者への指導が必要ではないか。 ゲーム・スマホをする日、読書 運動をする日など時間を作ってはどうか。 命の大切さについては、各学年、浸透しつつある。 命を守る意識がとても高く、大切なことだと思う。それが自分だけの事ではなく、他人（友達）の事も同じように大切に思ってくれる子ども達であってほしいと思う。 			<ul style="list-style-type: none"> 中学部が取り組む東郷地域振興計画に沿った授業はまちづくりに大きな成果を上げており、生徒たちの自己有用感の育成にも大きな影響を与えていると思う。 中学生は校外でも先取りあいさつがしっかりとできている。小学生は校内でもあいさつのできない子が多い。 中学部の学習発表会には、地域の人たちにも声かけして参加してもらってもよいのではないか。 体験学習の発表がすばらしかった。 地域の行事への参加も良い。 学校、家庭、地域との連携が取れている（理解度は高い）。 保護者間では、地域の行事にもっと取り組んでほしい内容などがあるのか？などを知りたい。また、発信されている情報などが届いていないのではないか？なども気になる。 グランドデザインについては、もう少し保護者への理解を求めてほしい。 職員間でのグランドデザインに対する共通理解も必要ではないか。PTA 間での共有も同様と感じた。 以前は、グランドデザインの事を知らなかった。地域の方に学校の取組等を知ってもらえる機会（発表の場）が増えて、地域全体で育てていけるとよいと思う。 私の住む地区では、行事（祭り、長寿を祝う会、運動会、レクリエーション等）に子ども達がよく参加してくれている。中学生は、以前はよく参加していたが、最近は祭り以外ほぼ参加がない。部活で忙しいかもしれないが残念です。また、外で遊ぶ姿を見ることが少なくなりました。 		

今後の具体的取組	1 読書の習慣化を図り、自分の考えをわかりやすく伝える力を育てます。 ① 朝読書の取組（1～8年） ② 毎日読書の推進 ③ 読書通帳の活用 2 家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ力を育てます。 ④ 学習の見届け ⑤ 「みんなく」（みんなで宅習を見守ろう）の取組 3 学習訓練の徹底を図り、学ぶ姿勢を育てます。 ⑥ 「学習の約束」の徹底（1分前着席・返事・立腰）	1 身なりを整え、あいさつができ、無言清掃を行う児童生徒を育てます。 ① 児童生徒自身で身なりを整える習慣の整備 ② 先取りあいさつ運動の励行 ③ 清掃活動を通したきれいな学校づくりの推進 2 時間を大切にする児童生徒を育てます。 ④ 学校生活における開始時刻の意識の徹底	1 体力向上に関する取組や食育を通してたくましい体づくりに努める児童生徒を育てます。 ① スクールスポーツプランの作成・実践 ② 食に関する指導全体計画の実践 2 「早寝・早起き・朝ご飯」や「メディアコントロール」などの生活リズムを整え、健康の増進に努める児童生徒を育てます。 ③ 健康カレンダーの作成・実践 ④ 家庭と連携したメディアコントロールの取組	1 地域と連携しながら、あいさつ運動・安全教育を実施します。 ① まちづくり協議会と連携したあいさつ標語作成 ② いのちの教育週間、人権週間、若竹集会を活用したいのちを大切に取る取組 2 地域の素材・人材を生かした体験活動及びキャリア教育を実施します。 ③ 生活科や総合的な学習の時間を中心とした積極的な体験活動の実施 出前授業・よのなか教室の実施
----------	---	--	---	--